平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	管理会計論B (Management Accounting B)			授業コード	E009151
担当教員名	工藤　順一、橋本　堅次郎			科目ナンバリングコード	E30607
配当学年	3	開講期	後期		
必修・選択区分	コース必修 会計ファイナンスコース 選択 地域マネジメントコース Bソリューションコース スポーツビジネスコース 福祉マネジメントコース こども・福祉コース	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	会計の関連科目をしっかり勉強することが望ましい。そして、できるだけ毎日、新聞を読んで、企業の新製品の開発等の経営関連の記事に目を通してほしいと思います。				
受講心得	将来の就職に備え、実践で活かそうという気持ちで受講してください。 就職しますと、どの職場でもコスト削減努力を要求されますので、どうしたらコストを削減できるかを身近な問題として考えるようにしましょう。				
教科書	「稲盛和夫の実学』(日本経済新聞社)				
参考文献及び指定図書	稲盛和夫著「高収益企業のつくり方」(日本経済新聞社) 大野耐一著「トヨタ生産方式」ダイヤモンド社他 TAC出版「合格テキスト　日商簿記2級　工業簿記、同1級　工業簿記・原価計算」				
関連科目	原価計算論A・B、管理会計論A、財務管理論				

授業の目的	管理会計の基礎学習を終えた上で、さらに必要な技法・理論についての学習をしていきます。 管理会計論Bは、基本的には管理会計論Aを履修した上で、成り立つ学問です。 この管理会計Bでは実務に即して、管理会計が具体的にどのような使われ方をするのかをできるだけ事例をあげ、習得してもらうことを目的にしています。
授業の概要	管理会計論Bでは、最初に財務会計と管理会計の異同を学習し、続いて管理会計論の範囲を見ていきます。そして事例等を取り上げながら、管理会計のシステムだけではつかめない、数値の裏側にある「業務の実態」について数値から読み解いていき、コストを下げるためにはどうすべきかをトヨタ生産方式等で学習します。そうした中で、将来、皆さんが経営者になったときに、経営資源である「ヒト、モノ、カネ、情報」をいかに使い、目標となる数値を達成していくかを考えることが重要です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 管理会計と財務会計の相違 管理会計と財務会計との相違点を学習していきます。会計の2大領域である財務会計との対比を説明していきます。それによって、管理会計の特徴がより明らかになると考えます。	予習として、2年生のときの財務諸表論で財務会計の復習をしておきましょう。
第 2 週 ： 経営のための会計学 企業経営の原点である「会計の原則」を正しく理解していきます。特に中小企業等、会計を税理士や公認会計士に任せているのが現状です。企業の長期的な発展のためには、管理に役立つ会計が必要です。それらを学習します。	予習として、企業会計原則について、再度復習をしておきましょう。
第 3 週 ： 京セラ設立時の会計に対する認識 著者はテキストの中で、京セラを設立したときの「会計」に対する認識の欠如を語っています。特に、会計の本質とそこにはたらく原理原則の欠如について触れています。私たちも、経営における会計の役割を最初にしっかり理解しましょう。	経営において会計がどのような役割を果たしているか、新聞情報を見てみましょう。

第 4 週 ： 減価償却と原理原則による判断 会計の基礎になるのは、原理原則に則った判断です。今週はまず、減価償却とは何かを学習し、次に、企業における減価償却と理論上の減価償却との異同点を学習します。すでに会計の勉強をしている学生諸君には復習となりますが、まったく会計の知識がない学生にも分かるように進めるつもりです。	減価償却の言葉の定義を予習として調べておきましょう。
第 5 週 ： 常識に支配されない判断基準 管理会計において常識がいかに人の心を強く支配するかを見ていきます。常識をうのみにするのではなく、道理からみておかしいこともあることを学びます。次に、経営分析にも用いられる業界の平均的な数値の取り扱いの危うさも学んで行きます。	2年生の原価計算のレジュメで、原価の3要素を調べておきましょう。
第 6 週 ： 売上げを最大に、経費を最低に 売上げを最大に、経費を最低にすることが経営の原則とわかっていても、実行するとなるととても難しい。できれば、経費を減らしながら、売上げを伸ばしていくことが理想である。そこで販売価格の値決めが、経営にとってもっとも大切なことを学びます。	経費とはどういうものか調べておきましょう。
第 7 週 ： キャッシュフローマネジメント キャッシュベースで経営するとは、お金の動きに焦点を当ててシンプルな経営を行うことを意味しています。「配当するお金がなくて、わざわざ銀行から借りてくるというのでは、儲かったといえるのだろうか」という疑問から「なぜレジからお金を持ち出してはいけないか」等キャッシュフローマネジメントの重要性について学びます。	キャシュフローについて事前に調べておきましょう。
第 8 週 ： 資産と費用との違い 会計上は資産と費用を分ける必要があります。あるものを買って、資産とするか費用とするかでは会計上の利益は大きく違ってきます。そこで、企業を発展させるための新たな投資には、手元にある自分のお金（キャッシュ）がとても大切となることを学びます。	貸借対照表の資産について、調べておきましょう。
第 9 週 ： 土俵の真ん中で相撲をとる（事例の研究） キャッシュフローマネジメントを重視している事例として、松下幸之助の講演「ダム式経営」を取り上げます。短期的な視野で、利益を計算することだけが管理会計でないことを学びます。	松下幸之助について、調べておきましょう。
第10週： 損益計算書の利益（勘定あって銭足らず） 近代会計に基づく発生主義を学習します。発生主義と現金主義はどうちがうのか。なぜ、発生主義なのか、利益とキャッシュフローとはどう結びつくのかを学びます。	発生主義の定義を事前に調べておきましょう。
第11週： 一対一の対応を貫く経営 管理会計は経営のすべての要素と連動しますが、経営活動においては、必ずモノとお金が動きます。そのときには、モノとお金と伝票が一対一の対応を保つ必要がありますが、実際の経営においては、対応しておらず、これが粉飾につながっていくことを学びます。	モノとお金に対応について事前に調べておきましょう。
第12週： 粉飾はなぜいけないか 業務を知るうえで粉飾の実態を知ることは大変に重要です。粉飾を知ることで、経営上やってはいけないことを知ることになります。様々な粉飾の方法と事例について学びます。売上と仕入れとの対応関係を見ながら粉飾を見ていきます。	復習として、新聞で、粉飾の事例を調べておきましょう。
第13週： 売掛金と買掛金の消し込み 管理会計は計算ではなく実践ですが、管理資料として作成された数値を読むスキルが必要です。数値を読むときの目のつけどころについて学びます。顧客を満足させることと、経理処理を正確にすることの両方を追う大切さも学びます。	理論と実践のどちらか大切か事前に考えておきましょう。
第14週： 中古品で我慢する 数字の把握や分析には「率」「額」の把握が重要です。最新の設備と中古の設備との、投資金額と生産性を比較し、どちらが効率的かを考えます。	あなたの周りの投資と効果の事例を事前に調べておきましょう。
第15週： まとめ 講義を通して管理会計について学んだことのまとめです。健全会計に徹することの重要性を学習します。	一連のレジュメを総復習してテストに備えて、調べておきましょう。
第16週： 期末試験 これまで学習してきた内容についてレポートを含めた試験を行います。	期末試験の後に、解けなかった問題を再度、解いておきましょう。

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	① 経営者として、または経理担当者として、数値で管理することの意味について理解し報告できる。
【知識・理解】	② 会社を数値で管理するための基礎知識が身についている。 ③ 会社を維持発展するための経営上の諸方策について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	④ 決算書を見て、その会社の財政状態と経営成績を表現することができる。
【思考・判断・創造】	⑤ 予算編成や事業計画の作成ができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	20点	10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	10点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点	10点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	講義の最後に授業内容について課題を出すことがあります。課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	授業の中で、適宜質問をします。優れた解答をした者は、記録して加点することがあります。